
◆立教大学全学共通カリキュラムにおける初年次教育とは

安松 幹展 本学コミュニティ福祉学部教授／
全学共通カリキュラム運営センター
総合教育科目構想・運営チームメンバー

全学共通カリキュラム（全カリ）における初年次教育を考えるには、まず、立教大学の建学の精神および教育理念を見直すところからはじめるべきだろう。立教大学の学士課程においては、建学の精神である「Pro Deo et Patria（神と国のために）」に基づき、「普遍的なる真理を探求し」（Pro Deo）、「私たちの世界、社会、隣人のために」（Pro Patria）働くことのできる「専門性に立つ教養人」を育成することを教育の理念としている。さらに、その実現のための「教育の目的」には、「専攻分野以外の学問領域に関して幅広い知識を習得することが可能な教育」や「異なる価値観を持った人たちと協働してプロジェクトを遂行できるようになる教育」の実践を掲げている（立教大学HPより）。いずれも、全カリに求められる目標であり、大学の初年次教育でも念頭に置くべき視点であると思われる。ここでは、筆者が関わってきた全カリにおける初年次教育に関する議論の振り返りと、2016年度統合カリキュラム（統合カリ）における初年次教育を目的とした科目群設置の趣旨から、立教大学の建学の精神に即した初年次教育を考えてみたい。

すでにご承知のように、私たち全カリ総合チームでは、2016年度から始まる統合カリに向けた改編作業を行っている。その中で、学びの段階（導入期、形成期、完成期）に基づいた科目カテゴリとして、十分な導入期教育の実施を目指して、「学びの精神」科目

群を提案している。この科目群は、「立教大学で学び始めるにあたって、立教大学ならではの教育とはどのようなものであるかをしっかり理解してもらおうこと」を目的とし、統合カリの中で唯一初年次の春学期から受けることができる講義科目群である（実習科目としてはスポーツ実習科目群も履修可能）。したがって、本稿のタイトルにある立教大学の初年次教育の考え方を体現するものと位置づけてもよいだろう。設立の趣旨においても、「基本知識や学習スキルの修得を目的とした学部での『学びの技法』に対して、全カリの『学びの精神』は、キリスト教をはじめとする宗教の精神性に触れ、他者を気遣い、共生できる生活様式を身に着け、さらに中等教育との違いを理解した上で大学での勉強の作法と実践能力の涵養を目的とする」ことが謳われている（2016年度全学共通カリキュラム総合教育科目新カリキュラムの枠組み（原案）、2014年5月）。

実はこれまでも、全カリにおける導入教育の必要性は議論されてきた。筆者がとりまとめに携わっていた2006年度改編に向けた議論では、学生の基礎学力の低下や学ぶ意味や意欲の喪失などの問題に対応するため、少人数で大学における学習の基礎的スキルや考え方を学ぶことを目的とした「学びの基礎」科目群として、「論理的思考法」「コミュニケーション」「数学入門」「日本語文章表現法」「ディベート」などの科目を新設することがすでに

提案されていた。議論の結果、導入教育の必要性は強く感じているものの、設置の前提条件として展開コマ数が24コマ程度しかなかったことや、学年の指定ができないことなどの理由から、導入教育としての目的を完遂することは困難であるという結論に至った（安松、「立教科目」今後の展開—立教生の学び方—, 大学教育研究フォーラム, 11, 40-45, 2006）。こうした議論の経験が、今回の2016年度統合カリでの「学びの精神」が120コマ程度の展開コマ数が用意され、本科目群に限り1年次春学期から履修可能とするなど、初年次教育の実効性を考慮した工夫に生かされたのだとあらためて感じる。

これらの経験から、立教大学の初年次教育をどう考えたらよいだろうか。山田礼子先生の「新時代の初年次教育を考える」（本号, 44-48）にもあるように、初年次教育の目的は単に「学力低下や動機の低下への対処」だけではなく、学生の成長を促す総合的な学士教育のスタートとしての付加価値も求められている。立教大学の初年次教育では、最初に述べたような、立教大学の「建学の精神」を具現化する科目群としての役割もあるのではないだろうか。2001年度から開講されている全カリの「立教科目」群では、「建学の精神」から導かれた倫理性、社会性、人間性を培う「宗教」「都市」「大学」「人権」をテーマに科目群が形成された。2006年度からはこれらに加えて、21世紀の人类的課題である「他者との共生」を学ぶことを目的とした「ウエルネス」「環境」「いのち」「平和」の4テーマも加わり、「Pro Deo et Patria（普遍的なる真理を探究し、私たちの世界、社会、隣人のため）」の教育を強く念頭に置いて来たといえる。これらのテーマは、2016年度統合

カリの「学びの精神」科目群でも扱われている。つまり、立教大学における初年次教育には、単に大学講義の受け方を体得するだけではなく、これらの科目群に脈々と受け継がれて来た「建学の精神」をも身に着けつけないという付加価値が込められていると結論づけてよいのではないだろうか。

やすまつ みきのぶ